

事業所名 森のツバメ

支援プログラム

作成日 R6 年 12 月 19 日

法人（事業所）理念		愛ある療育で子どもたちに笑顔と幸せを遊びから学び、学びから成長そして自立への喜び		
支援方針		1人1人の個性を伸ばす 子どもたちの可能性を育てる 想像力を豊かに向上させる		
営業時間		9 時 分から 18 時 分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	生活の流れを見える化し挨拶、手洗い、検温、荷物の片づけ、おやつ時のマナーなど身に付けられるよう支援します。個に応じた目当て、施設のルールを見える化し確認をします。避難訓練を毎月実施し避難方法を学びます。おやつ作りを通し作る楽しさ、皆で食べる楽しさを体験します。		
	運動・感覚	一定時間の着座、正しい姿勢で学習に取り組むことが出来るようにしていきます。多様な活動、ゲームを通し目と手指の協応動作やペーパークラフト等の工作を通して指先や手の使い方を学びます		
	認知・行動	個の頑張りの振り返りを行うことで自己肯定感を育みます。タイマーや時計で時間を計って学習することで時間を意識できるよう取り組みます。個別学習により数の概念、計算能力、ワーキングメモリー、間違いを受け入れる力、修正する力を習得できるよう支援します。工作活動を通し完成をイメージしながら手順通りに作る経験をします。		
	言語コミュニケーション	個別の学習で語彙力、読解力、音読する力を身に付けられるよう支援します。ゲームなどの集団活動を通して指示の理解、口頭や文章で自分の想いや考えを伝えたり、質問する力を育みます。職員やお友達との関わりの中で言葉のやりとりが出来るよう仲介、支援します。		
	人間関係社会性	来所時や降所時のあいさつ、活動終了時の礼儀作法、お礼の気持ちを育みます。人との関わりの中での振り返りやソーシャルスキルトレーニングを行います。集団活動を通して手順やルールの理解、周囲への適切な声かけ、気持ちのコントロールの仕方を学びます。		
家族支援		その日の活動を保護者に公開します。気になることがある時は、保護者に報告しヒアリングを行います。子育ての悩みについて相談に応じます。子どもの発達上の課題について気づきを促し家庭と連携しその後の支援に取り組めます。	移行支援	必要に応じて学校を訪問し子どもとの関わり方について伝達、擦り合わせなど具体的な関わり方を構築します
地域支援・地域連携		地域の公共施設を利用し地域資源を活用しています。公園等で交流、地域で面白い物。地域の学校、福祉サービス等と担当者会議を行い情報共有しています。	職員の質の向上	定期的に内部研修を行い特性に応じた関わり方や支援方法など学びます。自立支援協議会主催の研修参加もあります。
主な行事等		七夕祭り、ハロウィン、お楽しみ会、クリスマス会（ゲーム、工作、おやつ作り等実施）カレンダー作り		